

第1号様式（第2条関係）

風致地区内行為許可申請書

年 月 日

宇多津町長 殿

申請者 住 所

氏 名 ㊟

〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

電話番号（ ） ー

宇多津町風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項の規定により風致地区内における行為の許可を受けたいので、次のとおり関係書類を添えて申請します。

行 為 地	
行為地の地目	
行為の種別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積 ^{たい}
行為の目的	
行為の期間	年 月 日から 年 月 日まで

(注) 1 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

2 「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

第2号様式（その1）（第2条関係）

建築物説明書

建築物及び 工事の種類別	工 事 の 概 要				
	区 分	申 請 部 分	申請以外の部分	合 計	敷地の状況
1 地上に設ける建築物で仮設でないもの (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²	
	建築面積	m ²	m ²	m ²	
	建ぺい率			%	
	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
	最高の [※] 棟高	m	m		備 考
	壁面最近線	道路境界線 隣接境界線	m m	m m	
	構 造	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()		
	色 彩	屋根 外壁	屋根 外壁		
	仕様概要				
	2 地下に設ける建築物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²
地下占用面積		m ²	m ²	m ²	
延べ床面積		m ²	m ²	m ²	
3 仮設の建築物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²	敷地の状況
	建築面積	m ²	m ²	m ²	
	延べ床面積	m ²	m ²	m ²	
	最高の [※] 棟高	m	m		
	構 造	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()	(ア) 木造 (イ) 鉄筋コンクリート造 (ウ) その他 ()		備 考
	色 彩	屋根 外壁	屋根 外壁		
	設置期間	年 月 日から 年 月 日まで			
	建築士の住所及び氏名	(電話)			
施工責任者の住所及び氏名	(電話)				
<p>(注) 1 「建築物及び工事の種類別」の欄は、該当の番号及び符号に○印をつけてください。</p> <p>2 「工事の概要」の欄中「その他」に該当するときは、()内に事項を具体的に記入してください。</p> <p>3 「備考」の欄は、新築、増築、改築又は移転に係る部分が2以上ある場合において、建築面積、延べ床面積等の内訳を記入してください。</p> <p>4 建築物が、地上部分と地下部分からなる場合には、1と2に分けて記入してください。</p>					

第2号様式（その2）（第2条関係）

工 作 物 説 明 書

工作物及び 工事の種類		工 事 の 概 要				工作物の種 類及び用途
区 分		申 請 部 分	申請以外の部分	合 計		
1 地上に設け る工作物で仮 設でないもの (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	敷地面積			m ²	備考	
	規 模	水平投影面積	m ²	m ²		m ²
		高 さ	m	m		
		その他				
	構 造	(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンク リート造 (カ) その他 ()	(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンク リート造 (カ) その他 ()			
	色 彩					
	仕様の概要					
2 地下に設け る工作物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	規 模	水平投影面積	m ²	m ²	m ²	工作物の種 類及び用途
		その他				
	その他					
3 仮設の工作 物の (ア) 新 築 (イ) 増 築 (ウ) 改 築 (エ) 移 転	規 模	水平投影面積	m ²	m ²	m ²	備考
		高 さ	m	m		
		その他				
	構 造	(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンク リート造 (カ) その他 ()	(ア) 木 造 (イ) 鉄骨造 (ウ) 石 造 (エ) ブロック造 (オ) 鉄筋コンク リート造 (カ) その他 ()			
	色 彩					
	設置期間		年 月 日から 年 月 日まで			
設計者の住所及び氏名		(電話)				
施工責任者の住所及び氏名		(電話)				
<p>(注) 1 「工作物及び工事の種類」の欄は、該当の番号及び符号に○印をつけてください。</p> <p>2 「規模」の欄中「その他」の欄は長さ、幅員、面積、容積等を記入してください。</p> <p>3 「構造」の欄中「その他」に該当するときは、() 内に事項を具体的に記入してください。</p> <p>4 「備考」の欄は、新築、増築、改築又は移転に係る部分が2以上ある場合において、水平投影面積、高さ等の内訳を記入してください。</p>						

第2号様式（その3）（第2条関係）

建築物等の色彩の変更説明書

建築物等の種類	
色彩の変更箇所	
色彩の変更部分の面積	
現在の色彩	
変更後の色彩	
仕様の概要	
風致の維持のための 措 置	
施工責任者の住所及び 氏 名	(電話)
備 考	

第2号様式（その4）（第2条関係）

宅地の造成等
土石の類の採取
水面の埋立て又は干拓
説明書
屋外における土石等の堆積

1 宅地の造成等	行為地の現況		土地の形質変更面積	m ²	木竹の伐採の有無	
			移動土量	切土	m ³	
				盛土	m ³	
				客土	m ³	
		その他()	m ³	備考		
	隣接地の現況		生ずる法面の最高の高さ	m		
緑地率			%			
跡地の処理方法						
施工責任者の住所及び氏名			(電話)			
2 土石の類の採取	行為地の現況		採取面積	m ²	木竹の伐採の有無	
			採取土石類の種類			
			採取量	m ³		
	隣接地の現況		採取方法	(ア) 横坑掘 (イ) たて坑掘 (ウ) 斜坑掘 (エ) その他 ()	備考	
			跡地の処理方法			
施工責任者の住所及び氏名			(電話)			
3 水面の埋立て又は干拓	水面面積	m ²	工事方法		備考	
	埋立て又は干拓面積	m ²				
	隣接地の現況		跡地の処理方法			
施工責任者の住所及び氏名			(電話)			
4 屋外における土石等の堆積	行為地の現況		堆積面積	m ²	木竹の伐採の有無	
			堆積物の種類(細分類)	(ア) 土石 (イ) 廃棄物 (ウ) 再生資源 ()		
	隣接地の現況		堆積量	m ³		備考
			堆積物の最高の高さ	m		
			跡地の処理方法			
施工責任者の住所及び氏名			(電話)			
<p>(注) 1 1、2、3及び4の行為のうち、該当する行為に○印を付けてください。 2 「行為地の現況」及び「隣接地の現況」の欄は、建物の敷地の内外の別、林地、伐採跡地、草地等の別、木竹、建物その他の工作物の有無等を記入してください。 3 「移動土量」の欄の「その他」に該当するときは、()にその内容を具体的に記入してください。 4 「緑地率」とは、緑地面積の敷地面積に対する割合をいいます。 5 「緑地率」の欄は、算出結果を記入し、「備考」の欄又は植栽計画図等にその算出根拠を記入してください。 6 「跡地の処理方法」の欄は、埋め戻し、植栽等のほか、法面についても、芝付きコンクリートブロック擁壁、放置等具体的に記入してください。 7 「採取方法」の欄の「その他」に該当するときは、()にその内容を具体的に記入してください。</p>						

第2号様式（その5）（第2条関係）

木竹の伐採説明書

1 森林地内の伐採	林相	(ア) 針葉樹林 (イ) 広葉樹林 (ウ) 針広混交樹林 (エ) 竹林	伐採面積		m ²		跡地の処理方法	
			伐採量		m ³			
	林齢		伐採方法		(ア) 皆伐 (イ) 択伐 (択伐率 %)		備考	
	疎密度							
	隣接地の現況	伐採木竹	樹種名					
平均樹齢								
平均樹高			m					
2 森林地外の伐採	(1) 集団をなす木竹の場合	隣接地の現況	伐採面積		m ²		跡地の処理方法	
			伐採量		m ³			
			伐採方法		(ア) 皆伐 (イ) 択伐 (択伐率 %)		備考	
			伐採木竹	樹種名				
	平均樹齢							
	平均樹高			m				
	(2) 独竹立のし場た木	隣接地の現況	樹種名	樹齢	樹高	胸高直径	備考	
				m	m			
施工責任者の住所及び氏名		(電話)						
<p>(注) 1 該当番号及び符号に○印をつけてください。</p> <p>2 「疎密度」の欄は、樹冠投影面積の10分比で表わして下さい。</p> <p>3 「隣接地の現況」の欄は、土地の状況、木竹、建築物その他の工作物の有無及びその種類等を記入してください。</p> <p>4 「択伐率」は伐採区域における総材量に対する択伐量をいう。</p> <p>5 「跡地処理方法」の欄は、植栽、放置等を記入してください。</p> <p>6 「胸高直径」とは、1.3メートルの地上高の幹直径で、双幹以上のものは各幹直径の合計の70パーセントを探り、1.3メートルのところは枝の分れ目のときは、すぐ上部の寸法を採用してください。</p>								

第3号様式（第4条関係）

風致地区内行為許可標識	
許可年月日 及び番号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の 住所及び氏名	
行為の種別	
行為の場所	
施工の期間	年 月 日から 年 月 日まで

- (注) 1 許可標識の大きさは、縦30センチメートル以上、横50センチメートル以上とします。
- 2 「許可を受けた者の住所及び氏名」の欄は、法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名を記載してください。
- 3 「行為の種別」の欄は、風致地区内における建築等の規制に関する条例第2条第1項各号に掲げる行為の種別を基準として、その内容を具体的に記載してください。

第4号様式（第5条関係）

風致地区内行為 中止
廃止届
完了

年 月 日

宇多津町長 殿

届出者 住 所

氏 名 ⑩

〔法人にあっては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

電話番号（ ） ー

中止
風致地区内における行為を廃止したので、宇多津町風致地区内における建築等の規制
完了

に関する条例施行規則第5条の規定により次のとおり届け出ます。

許可年月日 及び番号	年 月 日 第 号
行 為 地	
行 為 の 種 別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積 ^{たい}
中止 廃止年月日 完了	年 月 日

- (注) 1 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
 2 「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

第5号様式（第7条関係）

風致地区内行為許可承継届

年 月 日

宇多津町長 殿

届出者 住 所

氏 名

〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

電話番号（ ） ー

宇多津町風致地区内における建築物等の規制に関する条例第6条第1項の規定により、風致地区内における行為の許可を受けた者の地位を承継したので、次のとおり届け出ます。

許 可 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の住所及び氏名 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	
行 為 地	
行 為 の 種 別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積 ^{たい}
承 継 年 月 日	年 月 日
承 継 の 原 因	

(注)「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。

第6号様式（第7条関係）

風致地区内行為許可承継承認申請書

年 月 日

宇多津町長 殿

申請者 住 所

氏 名 ㊟

〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

電話番号（ ） ー

宇多津町風致地区内における建築物等の規制に関する条例第6条第2項の規定により風致地区内における行為の許可を受けた者の地位を承継したいので、次のとおり申請します。

許 可 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日 第 号
許可を受けた者の住所及び氏名 (法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	
行 為 地	
行 為 の 種 別	1 建築物等の新築、増築、改築又は移転 2 建築物等の色彩の変更 3 宅地の造成等 4 木竹の伐採 5 土石の類の採取 6 水面の埋立て又は干拓 7 屋外における土石等の堆積 ^{たい}
承継申請の理由となる事実	
上記事実の発生年 月 日	年 月 日
行為及び行為地の現況	
許可に付された条 件	

- (注) 1 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができます。
 2 「行為の種別」の欄は、該当する番号に○印を付けてください。